

## 安全クイズの答え

Q1の答えは 3でした。

- 1「犯人の性格を分析すること」・・・犯人は色々な年齢・環境などあり性格は判りません。
- 2「不審者に注意すること」・・・誰が不審者かわかりません。
- 3「犯行の機会をへらすこと」・・・犯罪は「犯人・被害者・機会」があつて成立します。

Q2の答えは 3でした。

- 1「不審者が出没した場所を書いたもの」・・・同じ所にまた出るとは限りません。
- 2「犯罪が起きた場所を書いたもの」・・・1と同じ理由です。
- 3「不安を感じる場所を書いたもの」・・・人によって不安はそれぞれ違います。
- 4「入りやすく見えにくい場所」と「入りやすく見えやすい場所」を書いたもの・・・  
犯人は人に見られず逃げやすい場所が好きです。

Q3の答えは2・4・5でした。

- 1「ガードレールがある歩道」・・・自動車での連れ去りに不向きです。
- 2「田んぼ道」・・・何もない丸見えの所ですが人は関心を示しません。
- 3「ロープで囲まれた空き地」・・・入ってはいけないと意思表示をしている場所に人が居ると不審に思われるので嫌いです。
- 4「トンネル」・・・犯人は前と後ろさえ気にすればよいので犯行が成功しやすく好きです。
- 5「駅前広場」・・・色んな人が居て犯人が居ても誰も気が付きませんので好きです。
- 6「両側に住宅の窓がたくさん見える道」・・・家の中から見られているかも知れないと思うので犯人は嫌いです。

みなさんどうでしたか、判りましたか？

お父さんやお母さんは判ってくれると思いますが、小さなお子様にはなかなか説明しても判らないと思います。子供たちが自分で歩いて、感じて危険な景色を判断できれば不幸な犯罪に巻き込まれずに済むかもしれません。「景色解読力」は防犯に限らず防災や交通にも共通する力です、是非「地域安全マップ」を作ってみてください。

加茂学区安全・安心ネットワーク青パト隊長 熊沢でした。

